

生活習慣病・介護予防のための生体機能アシストシステムの開発

現状



肥満症



高血圧症



加齢

☆生活習慣病

罹患者数 ↑

☆要介護者数 ↑

社会保障費増大
(医療費/介護費)

予防の重要性 ↑

対策

運動からのアプローチの重要性



課題



身体的運動制限



環境的運動制限

研究内容

骨格筋電気刺激などの他動的運動による生体へのアプローチ



筋力 ↑ 代謝 ↑
動脈機能 ↑

身体機能向上
フレイル予防
循環器疾患予防

展開

- ・運動困難者に対するロボット型アシストシステムの開発
- ・座位姿勢のまま骨格筋電気刺激を加える椅子等の事務機器の開発
- ・宇宙放射線による生体機能障害を予防する宇宙服の開発

リハビリテーション

福祉工学

労働科学

健康科学

宇宙医学